

DX認定にあたっての 経営指標について



2022.6策定
(2024.5改訂)
(2026.5改訂)

KOJOH

①指標

①人財それぞれのプロフェッショナル化

1. 定期的な人財育成と教育

L 2022年度以降、DXを進める人財を毎年度2名程度採用

L 2025年度までにkintoneで簡単なアプリ作成の作成ができる人財を10名に増やす

2. 2025年度資格取得者数を全営業スタッフの70%を目標とする

②変化をおそれない企業文化醸成

1. BackOfficeグループ

L DXへの取組の継続と全社への展開

2. DXグループ

L 営業活動におけるDXプロセスの展開

③ITツールの活用による更なるデジタル化

1. 入力に費やす時間を80%削減（現在40%程度削減）

2. 請求業務の出力封入郵送業務を80%削減（現在40%程度削減）

3. 社内紙資料の削減50%

4. 提案回数や時間等直接営業にかかわる時間の増加30%

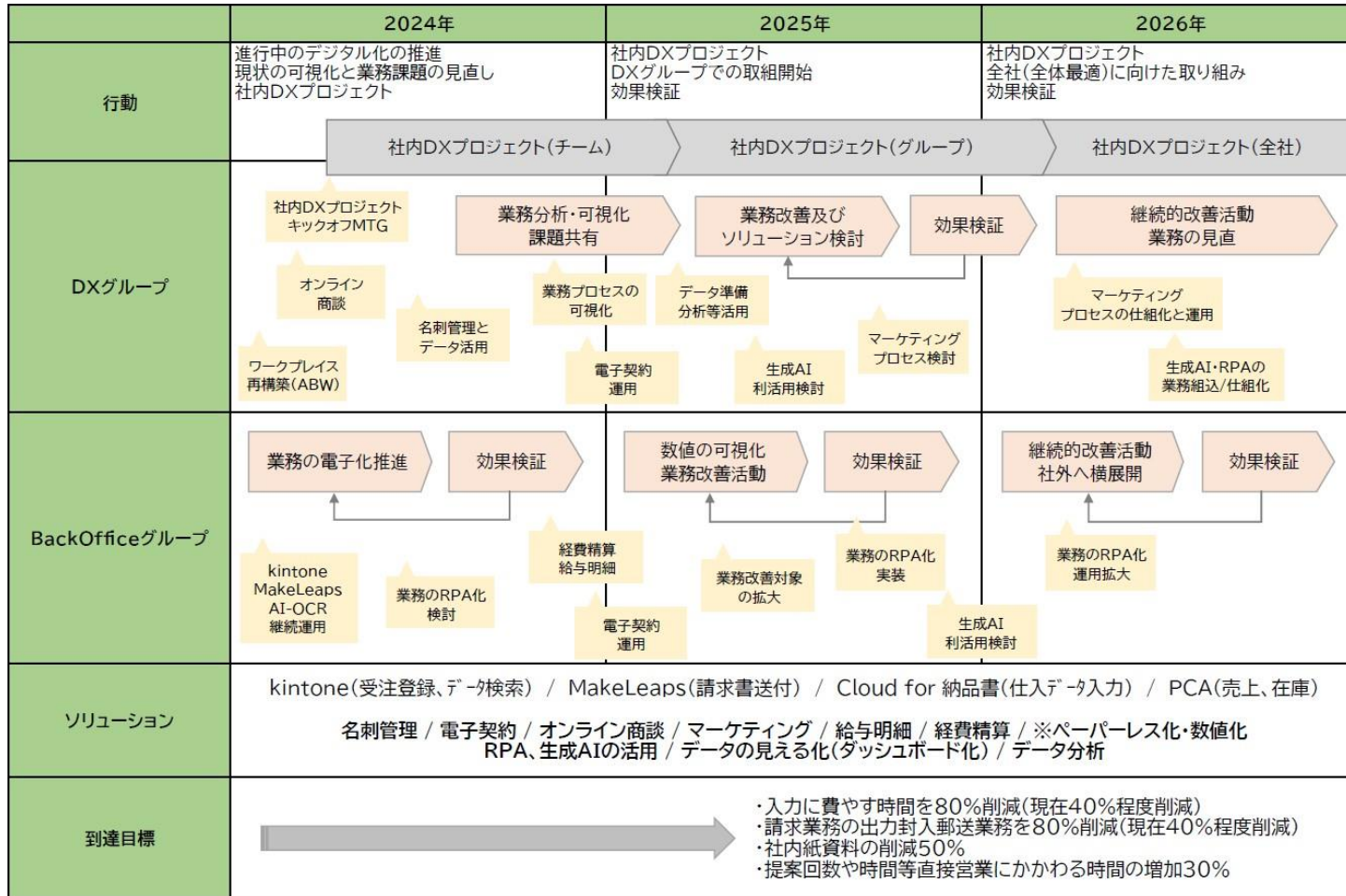
④スピード感を意識した課題解決「大分をDXでいっばいに！」

2026年度に、弊社DXソリューション(例示：弊社WEBサイトのDX SOLUTIONのソリューション一覧にて記載カテゴリ)で変革を遂げられたお客様、累計100社を目指す。

②指標に対する取組実績

①人財それぞれのプロフェッショナル化	2024年	2025年	2026年4月末時点
DXを進める人財を毎年度2名採用	2名	2名	1名
kintoneで簡単なアプリ作成ができる人財10名	7名	8名	8名
資格取得者数（資格取得者/営業スタッフ）70%	39%	40%	44%
②変化を恐れない企業文化醸成	2024年	2025年	2026年4月末時点
BackOfficeグループ DXへの取組の継続と全社への展開	<ul style="list-style-type: none"> 受注売上案件アプリ構築・運用 電子請求サービス導入・運用 特定業務へのRPA導入 保存文書の電子保存開始 	<ul style="list-style-type: none"> 業務システム間のAPI連携 勤怠管理システム利用拡大 給与支払事務省力化 	<ul style="list-style-type: none"> 人事評価システム導入と評価業務の省力化 グループ内社員の多能工化
DXグループ 営業活動におけるDXプロセスの展開	<ul style="list-style-type: none"> 業務アプリ構築・導入・運用 DX人財育成のための資格奨励制度制定 	<ul style="list-style-type: none"> 社内会議体のデジタル化 情報の可視化とデータ分析後の活用（取組中） 	<ul style="list-style-type: none"> 社内DX人財育成の集中合宿 電子契約へ移行（取組中） 生成AIを活用したビジネスモデル構築（取組中）
③ITツールの活用による更なるデジタル化	2024年	2025年	2026年4月末時点
入力に費やす時間を80%削減（OCRによる仕入れデータ入力）	40%	52%	60%
請求業務の出力封入郵送業務を80%削減	65%	68%	70%
社内紙資料の削減50%	49%	62%	62%
提案回数や時間等直接営業にかかわる時間の増加30%	5%	10%	15%
④スピード感を意識した課題解決「大分をDXでいっばいに！」	2024年	2025年	2026年4月末時点
変革を遂げられたお客様、累計100社	累計17社	累計53社	累計83社

③社内DX推進スケジュール



社員みんながイキイキ・ワクワクと活躍し、
お客様の成功に役立つ企業となる

- ・場所を問わない働き方
- ・多様性に対応した環境の提供と社員の活躍機会創出
- ・女性活躍推進及び全員活躍社会へ
- ・SDGsを意識したDX推進
- ・働く喜びの提供

等々

2024/5/27更新